

平成 22 年度 普及に移す農業技術（第 1 回）

- [ 分 類 ] 普及技術
- [ 成果名 ] 水稲初期除草剤キルクサ 1 キロ粒剤は水田雑草防除に有効である
- [ 要 約 ] 移植水稲にキルクサ 1 キロ粒剤を植代時～移植前 4 日、移植直後～ノビエ 1 葉期までに処理し、その後中期除草剤との体系処理とすることで効果的な雑草防除が可能である。
- [ 担 当 ] 農業試験場作物部、農業技術課
- [ 部 会 ] 作物部会

1 背景・ねらい

効果の高い水稲用初期除草剤を選定する。

2 成果の内容・特徴

( 1 ) 移植水稲にキルクサ 1 キロ粒剤を植代時～移植前 4 日、移植直後～ノビエ 1 葉期（移植後 5 日）までに処理し、その後中期除草剤との体系処理とする。本剤は新規成分オキサジアルギルを含む。

農薬登録内容

[ 一般名および成分含有量 ] オキサジアルギル 0.50%

[ 毒性 ] 人畜毒性：普通物 [ 魚毒性 ] A 類

[ 対象作物に対する適用登録状況 ] (平成 22 年 9 月 24 日現在 JPP-NET 確認)

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり使用量	本剤の使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及びマツルイ	湛水散布	砂壤土～埴土	植代後～移植前4日又は移植直後～ノビエ1葉期但し、移植後15日まで	1kg/10a	2回

3 利用上の留意点

( 1 ) 利用上の留意事項は、「農作物病害虫・雑草防除基準（長野県）」の他の初期除草剤を参照する。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

( 1 ) 平成 21 年の農業試験場内試験では薬害がなく（表 1）、移植前 4 日処理、移植後 5 日処理でノビエほか 1 年生雑草に対して中期剤処理までの効果があり、その後中期剤との体系防除で実用的な除草効果が見られた（表 2）。

表 1 キルクサ1キロ粒剤の水稲生育への影響 (平成21年、農業試験場)

除草剤名	処理時期	処理量	薬害		草丈 cm	茎数 本 / m <sup>2</sup>	穂数 本 / m <sup>2</sup>	出穂期 月日
			症状	程度				
キルクサ1キロ粒剤+クミメート S M1キロ粒剤	-4 +20	1kg+1kg	無	-	64	560	464	7/30
キルクサ1キロ粒剤+クミメート S M1キロ粒剤	+5 +20	1kg+1kg	無	-	59	459	370	7/30
ソルネット1キロ粒剤+マメット S M1キロ粒剤	+0 +20	1kg+1kg	無	-	63	505	399	7/30
無処理	-	-			56	250	215	7/27

注) 農業試験場水田ほ場（標高340m、中粗粒グライ土）、「あきたこまち」、中苗3本植(22.2株/m<sup>2</sup>)、代かき：5月9日、移植：5月14日、1区7.2m<sup>2</sup>2区制、生育調査は7月1日

表2 キルクサ1キロ粒剤の除草効果

(平成21年、農業試験場)

調査時期	除草剤名	処理時期	ノビエ	タマガヤツリ	コナギ	アゼナ	ミソハコベ	キカシグサ	マツハイ	合計	(ホタルイ)
+20日	キルクサ1キロ粒剤+クミメートSM1キロ粒剤	-4 +20	0	0	t	0	0	0	0	t	1
	キルクサ1キロ粒剤+クミメートSM1キロ粒剤	+5 +20	0	0	5	0	0	0	0	t	3
	ソルネット1キロ粒剤+マメットSM1キロ粒剤	+0 +20	0	0	0	0	0	0	0	t	t
	無処理	-	28.71	0.11	8.86	1.87	10.99	8.31	t	58.85	64.02
+45日	キルクサ1キロ粒剤+クミメートSM1キロ粒剤	-4 +20	0	0	t	0	0	0	0	t	1
	キルクサ1キロ粒剤+クミメートSM1キロ粒剤	+5 +20	0	0	7	0	0	0	0	t	18
	ソルネット1キロ粒剤+マメットSM1キロ粒剤	+0 +20	0	0	t	0	15	t	0	3	0
	無処理	-	35.53	t	11.385	1.815	55.275	38.995	0.76	143.76	125.73

注) 除草剤各処理の数値は風乾重無処理区対比%、無処理区は乾物重 g/m<sup>2</sup>、( )内は対象外、合計から除外、記号 t は trace(痕跡程度)の残存を示す

(2) 平成22年飯山市の現地試験ではキルクサ1キロ粒剤散布後薬害はなく(表3) 中期剤散布前の移植後20日時点では同等の除草効果が見られた(表4)。

表3 キルクサ1キロ粒剤処理による水稻への影響

(平成22年、北信普及セ)

除草剤名	処理時期	処理量	薬害		草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	出穂期 月/日	穂数 本/m <sup>2</sup>
			程度	症状				
キルクサ1キロ粒剤	+1日	1kg	無	-	68	389	8/21	272
無処理	-	-	-	-	60	312	8/21	198
ホクト1キロ粒剤	+7日	-	無	-	65	351	8/21	289

注) 試験場所: 飯山市豊田、標高330m、埴壤土、「キヌヒカリ」、稚苗機械移植、代かき6月10日、田植6月14日、30a1区制、生育調査は7月15日、キルクサ1キロ粒剤のみ体系処理とし中期剤はザーベックスDX1キロ粒剤を+20日処理、慣行のホクト1キロ粒剤は隣接ほ場

表4 キルクサ1キロ粒剤の除草効果

(平成22年、北信普及セ)

除草剤名	処理時期	アゼナ	その他一年生雑草	合計
キルクサ1キロ粒剤	+1日	21	+	49
無処理	-	0.38	0	0.38
ホクト1キロ粒剤	+7日	+	600	+
無処理	-	0	0.24	0.24

慣行のホクト1キロ粒剤の無処理、除草剤各処理の数値は風乾重無処理区対比%、無処理区は乾物重 g/m<sup>2</sup>、移植後20日調査、+は無処理区の発生ないが処理区に発生あり(実数は1.04g/m<sup>2</sup>)

## 6 特記事項

[公開] 制限なし。

[分類理由]

[課題名、研究期間、予算区分]

普通作物の新規農薬等の効果・評価試験、平成21~22年度(2009~2010年度)、民間受託  
県植物防疫協会委託試験(普及展示ほ)、平成22年度(2010年度)、その他